

【 第5回熊本大学定例学長記者懇談会 】

日 時： 令和3年10月6日（水） 13：00～14：00（予定）

場 所： 本部棟1階 大会議室

本学出席者：熊本大学長 小川 久雄（カガワ ヒサオ）

理事・副学長（教育・学生支援担当） 宇佐川 毅（ウサガワ ツヨシ）

理事・副学長（研究・グローバル戦略担当） 大谷 順（オオタニ ジュン）

国際先端科学技術研究機構長 高島 和希（タカシマ カズキ）

内 容：

1. 熊本大学の博士人材育成：次世代研究者挑戦的研究プログラム「Well-being 社会を先導する異分野横断型博士人材育成プログラム」について（資料1）
2. 紫熊祭(大学祭)の開催について（オンライン開催）（資料2）
3. その他

※新型コロナウイルス感染症の感染対策を徹底した上で開催いたします。

次世代研究者挑戦的研究プログラム Well-Being社会を先導する 異分野横断型博士人材育成プログラム

本学は、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）が公募した「次世代研究者挑戦的研究プログラム」に採択されました（採択40機関／申請53機関）。

事業期間：最大5年間（令和3年10月～令和8年3月）

対象人数（全国）：令和3年度採用分 最大6,000人

このプログラムでは、博士後期課程学生の研究に専念できる環境の構築及び修了後のキャリアパス形成に向けた支援を行うことにより、博士後期課程（博士課程）への進学意欲の向上並びに高度な研究能力を備えた博士人材の育成を図ります。

採用予定人数：60人/年 1～3年次 各18人、4年次 6人

1人当たり支給（配分）額：

研究奨励費（生活費相当額） 18万円/月 研究費 40～60万円/年

本プログラムの目指すところ

先が予測できない時代

気候変動・環境問題
水俣病・水銀汚染

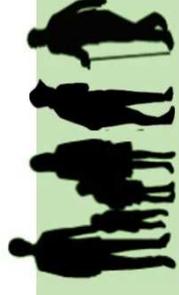
新型コロナウイルス
ウィルス感染症

激甚災害
(大地震・豪雨等)



安全・安心で生涯健康に過ごせる

Well-Being社会の構築



人にやさしく、人に寄り添う新たな科学技術・産業・医療・政策を創発

確かな専門性 + 俯瞰力、学際的マインド、多様な課題を解決する力、国際展開力

高い志を持つ異分野横断型博士人材の育成

医学・薬学・保健学・自然科学・社会文化科学の大学院と外部協力機関がOne Team
(異分野横断・挑戦的研究力+キャリア開発・コンピテンシー養成)

Well-Being社会を先導する異分野横断型博士人材養成プログラム



対話



医療



病因解明
創薬



減災
防災



データ
サイエンス



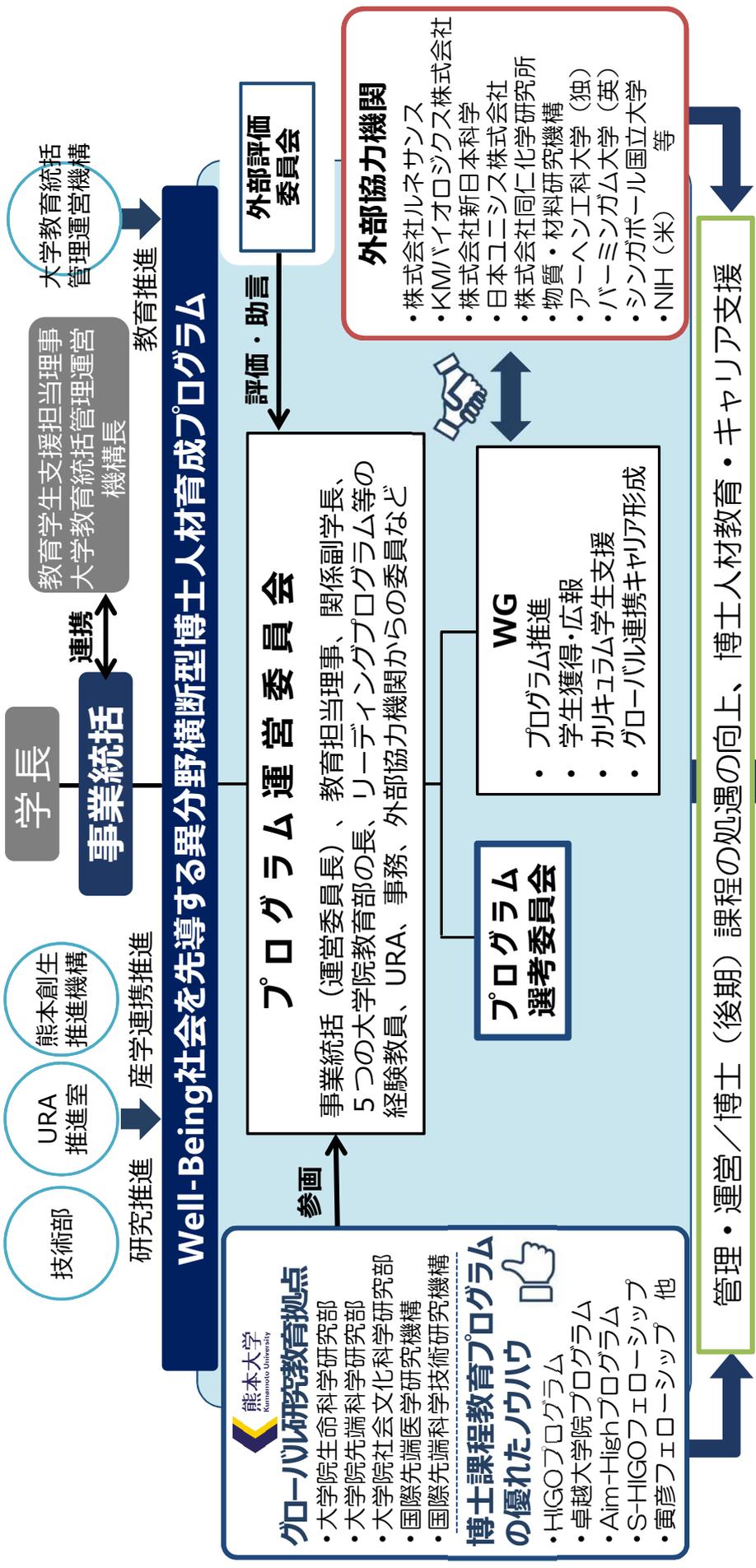
文化財
保護

生活費相当額：18万円/月 採択人数：60名/年 D1~D3：18名、D4：6名

研究費：40~60万円/年（令和3年度は20万円）

プログラムの実施体制

事業統括は、学長から指名されており、**大学教育統括管理運営機構の長を務める教育学生支援担当理事が事業統括と連携**することで、**事業を円滑に推進・運営**できる体制



グローバル研究教育拠点

- 大学院生命科学研究所
- 大学院先端科学研究所
- 大学院社会文化科学研究部
- 国際先端医学研究機構
- 国際先端科学技術研究機構

博士課程教育プログラムの優れたノウハウ

- HIGOプログラム
- 卓越大学院プログラム
- Aim+Highプログラム
- S-HIGOフェローシップ
- 寅彦フェローシップ 他

外部協力機関

- 株式会社ルネサンス
- KMバイオロジクス株式会社
- 株式会社新日本科学
- 日本コニシス株式会社
- 株式会社同仁化学研究所
- 物質・材料研究機構
- アーヘン工科大学 (独)
- パーミンガン大学 (英)
- シンガポール国立大学 等
- NIH (米)

- 保健学教育部
- 薬学教育部
- 医学教育部
- 自然科学教育部
- 社会科学教育部

[参考] 科学技術イノベーション人材育成事業

若手研究者の育成・活躍促進

- ・ 優秀な若手研究者に対する主体的な研究機会の提供

人文社会科学系

自然科学系

生命科学系

◆特別研究員事業（昭和60年度～）

優れた若手研究者に研究奨励金を給付して研究に専念する機会を提供し、支援。
採用人数（全国）：DC1 700人程度/年、DC2 1,100人程度/年

【共通】研究奨励金（生活費相当額） 20万円/月 特別研究員奨励費 上限150万円/年

【熊本大学】（令和3年度採用）

DC1：社会文化科学教育部 0人、自然科学教育部 5人、生命科学系教育部 3人

DC2：社会文化科学教育部 1人、自然科学教育部 8人、生命科学系教育部 3人 計20人/年

◆科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業（令和2年度～）

博士後期課程学生に対し、学内フェローシップと博士課程修了後のキャリアパスの確保を一体として実施する大学を支援。総支援人数：1,000人/年

【熊本大学】研究専念支援金（生活費相当額） 15万円/月 研究費 20万円/年

対象：自然科学教育部 1～3年次 各6人/年、医学教育部、薬学教育部、保健学教育部
2～4年次 各8人/年 最大 42人/年（令和5年度）

◆次世代研究者挑戦的研究プログラム（令和3年度～）

経済的支援及びキャリア開発・育成支援を通じ、博士後期課程による自由で挑戦的・融合的な研究を推進。総支援人数：最大6,000人/年

【熊本大学】研究奨励費（生活費相当額） 18万円/月 研究費 40～60万円/年

対象：社会文化科学教育部、自然科学教育部、医学教育部、薬学教育部、保健学教育部
1～3年次 各18人、4年次 6人 最大60人/年

第十回

紫熊祭

2021

[The 10th Sigma Festival]

10GETHER

開催日時

2021.10.30(Sat)

17:00-22:00(配信予定)

今年はオンラインで開催

YouTubeにて配信

公式 Twitter @sigma_fes

公式 Instagram sigma_fes

- 第十回ミス熊大コンテスト
- 第十回ミスター熊大コンテスト
- 熊大コレクション
- 第7回夜の筋肉祭り“極”

第十回紫熊祭特設 Web サイト
(10/28 開設予定)

公式 Web サイト

